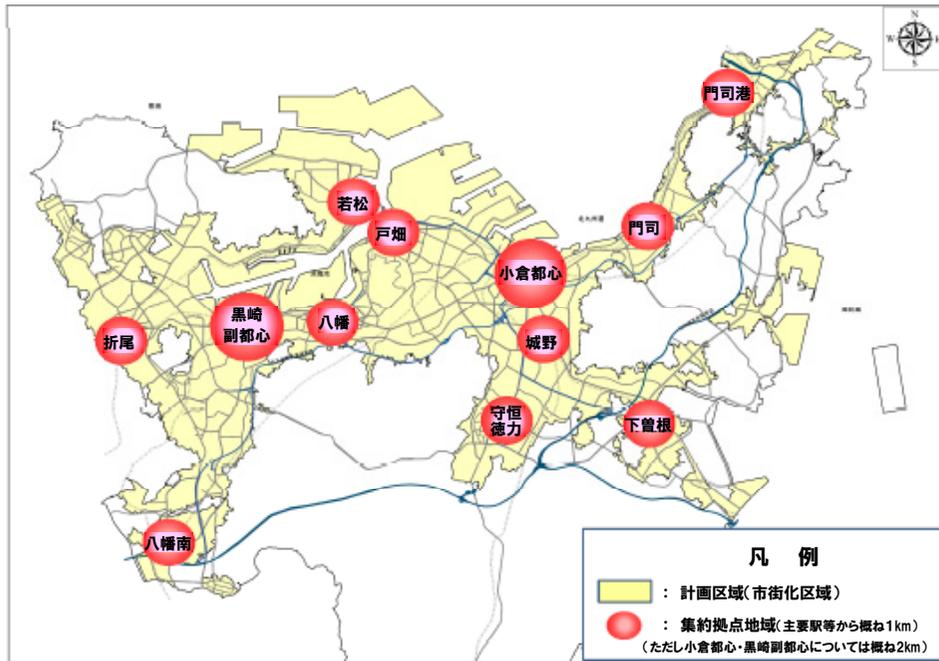


福岡県北九州市（平成26年3月31日作成）

- コンパクトシティ形成を視野に生活支援機能の充実度が高い市内12箇所の拠点を「集約拠点地域」として位置付けた多拠点型の低炭素まちづくり計画。
- 集約拠点地域では、市街地再開発事業、土地区画整理事業により環境に配慮した街区の整備を行うとともに、八幡東区東田地区においては、地域節電所（CEMS）を活用したスマートコミュニティ実証事業を実施するなど先進的な取り組みを行う。

■計画区域（約20,000ha）と集約拠点地域



■主な施策



・市街地再開発事業（小倉駅南口東地区）

市の玄関口である小倉駅にふさわしい都市機能の集積と土地の高度利用を図るため、都市計画道路博労町線と、住宅・業務・商業・駐車場を備えた再開発ビルとを一体的に整備し、魅力ある空間を形成する。
 （敷地面積の2割の緑化、CASBEE北九州の導入）



・城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業

JR 城野駅北側の城野地区（約19ha）において、エコ住宅や創エネ・省エネ設備の設置誘導、公共交通の利用促進など、様々な低炭素技術や方策を総合的に取り入れて、ゼロ・カーボン（CO₂の排出を極力抑え、排出量が理論上ゼロ）を目指した住宅街区を整備する。

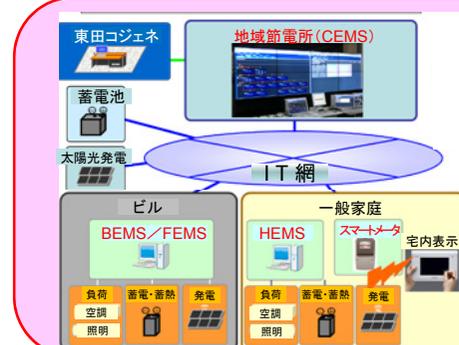
■計画期間：平成26年度から平成30年度までの5年間

■計画の目標：100万t-CO₂削減（2005年度比、6%相当）

中期目標（2030年）：530万t-CO₂削減

長期目標（2050年）：830万t-CO₂削減

■計画の評価：環境モデル都市行動計画と一体となって、年度ごとに事業の進捗、目標の達成状況のフォローアップを行う



・北九州スマートコミュニティ創造事業

八幡東区東田地区では、地域の電力を一元的に管理する地域節電所（CEMS）、住宅や事業所など各需要家の電力を30分毎に計量し地域節電所にデータを送信するスマートメータ、地域節電所と連携しながら需要家の省エネ、ピークカットを実施するBEMSやHEMS、FEMSを実証事業で導入している。